

草 取 り の 効 用

ゴソッと快よい感触を指に残して、文字通り根こそぎにできる草。かと思うと、ハマスゲやスギナのように、いくら用心して根元から引き抜こうとしても途中から切れてしまう草。背中に初夏の陽を浴び、朝露に濡れた草とたたかっていると、いつの間にかそこには草に隠されていた土の黒さが瑞々しく広がって行き、その広がりが一つの充足となって心を満して行く。

零から出発して一つの計画を立て、それを育てて稔りを刈り取るような、起承転結のある仕事から離れて久しい。毎日が昨日の繰返しとなり、目の前を夥しい書類が通り過ぎるのに慣れてくるにつれ、人は仕事を仕上げる喜びを忘れ、満されぬ充足感をフラストレーションの種としているのではないだろうか。欧米を旅している時、折にふれ、庭先の落葉を掃き集めたり、草いきれの中で柴刈りに一心不乱となっている人々に出会うことがある。その人達は申し合わせたように、通り過ぎる見知らぬ人にも愛想が良いが、きっとそれは一つの仕事を仕上げていく喜びが彼等を優しくさせているのではないかと思う。

最近、わが国でもホビーライフの豊かさが、生甲斐の一つとなり、欧米の管理職研修講座でも「Be Relax」という言葉がよく使われていると聞かすが、それは日頃のフラストレーションを如何に早く解消して、気分転換を図ることができるかが、管理職の要件となってきたからではあるまいか。その意味で、私の小さな庭の草取りは、知らず知らずのうちに、大きな効用を私に与えてくれているのだと思う。

〔財団法人 日本植物調節剤研究協会理事
日本化学株式会社取締役・農業事業部長 石井潤一〕

目 次 (第15巻第10号)

「ベンチャービジネス」に期待する……2
＜農林水産技術会議事務局長 岸 国平＞

年 頭 の 挨 拶……3
＜農薬工業会会長 宗 展生＞

第8回アジア・太平洋地域雑草学会
議参加紀行……4
＜日植調研究所 鈴木照麿・山崎和己＞

世界の畑作雑草と除草体系
(2) 世界の地域別農業と雑草(オセ
アニア・アフリカ)……11

＜宇都宮大学 竹松哲夫・竹内安智＞

3. オセアニア……11

4. アフリカ……13

世界における作物栽培と雑草防除……18
＜東北農業試験場 野口勝可＞

昭和56年度春夏作芝生関係除草剤・
生育調節剤試験成績概要……26
＜財団法人 日本植物調節剤研究協会＞

新除草・調節剤
・トリクロピル除草剤……32

表紙の写真は、カタバミの種子表皮細胞を走査電子顕微鏡で撮影したもの、
亀甲突起型、4000倍。

〔写真提供者；笠原安夫氏〕